

## \* 自然の保育 \*

### <「食」と「命」のつながりの保育>

飽食の時代といわれ、食べたいものをすぐに食べることができ、子どものみならず、大人も食に対する考えが希薄になりやすい現代、次の社会を作る子ども達に『食』と『命』のつながりをもっと生活の中で伝えたい…そんな思いで、畑の野菜作りや、田んぼでの米作りをしています。生活の中で作ることで、食べることでとがあまり離れすぎないように心がけながら食べるだけでなく、様々な生活文化を通した実践を基本に取り組んでいます。



#### 雄町の畑での収穫物

- ◎春…いちご・アスパラ
- ◎夏…ジャガイモ・すいか・いんげん  
かぼちゃ・トマト・なす・きゅうり
- ◎秋…サツマイモ・えだまめ
- ◎冬…大根・ニンジン・かぶ・黒豆・水菜・キャベツ



畑で取れた  
大きないちご  
は、あまいよ

### <田んぼでの米作り>

国府市場にある保育園の田んぼを使い、昔ながらのやり方でお米作りを体験しています。管理は畑の先生にお願いしていますが、散歩で稲の成長も見にいけます。収穫時は、鎌やはさみを使って稲刈りをし、脱穀機を使っての脱穀の経験もしています。もみすりを終えた新米のおにぎりは最高です。

5月中旬	・もみまき	・5歳児
6月下旬	・田植え	・3歳以上児（3歳は親子ふれあいデー）
11月上旬	・稲刈り	・3歳以上児（5歳は親子ふれあいデー）
11月中旬	・脱穀(稲刈りの1週間後)	・3歳以上児（2歳児は見学、米拾い）
11月下旬	・もみすり	・2歳児から体験、見学
12月～	・新米で調理保育、給食	・おにぎりづくり、お弁当づくりなど、給食(玄米ご飯)
12月中旬	・正月飾りづくり	・5歳児